

北海道大学工学部 正会員 川村博三
岩手大学 工学部 正会員 岩佐正章
北海道大学工学部 学生会員 〇川原恒平

1 はじめに

城址公園は、一般に都市の市街地に位置し、その面積も総合公園に匹敵するものもある。そしてその敷地内には文化施設、運動施設、遊戯施設などの施設が設けられている場合が多い。しかしそれらの施設がすべて城址公園の性格に調和したものであろうか。

本研究ではこの点を考えながら、城址公園をオープンスペースとしてとらえ、その性格を住民の心理的評価より明らかにし、城址公園の都心部における有効性を究明する。さらに諸施設の建設の妥当性と公園周辺との調和など、今後の城址公園のあり方について考察する。

なお本研究においてオープンスペースとは、原則として公共性を持ち、永続性が保証された非建ぺい空間であると定義し、特に日常の市民生活に結びついた空間を取り上げる。

2 心理的評価の測定方法

① オープンスペースの中から19種類を取り上げ、一対比較法によってそれぞれの選好性と歴史公園の相対的位置を尺度上より検討する。ここで被験者にはスライドで対象オープンスペースを覚えてもらう。4つの距離について一対ずつ比較してもらう。(歴史公園のスライドは盛岡市の城址公園：岩手公園) 被験者は時間的制約のため、後述の男子学生層26名、郊外主婦層10名とした。図-1は19種類のオープンスペースの中から歴史公園を中心に、盛岡市において注目すべきものを抜粋している。

② 次に岩手公園に着目する。被験者(総数175名)を20〜30名程度の共通した性格を持つと思われる7つの層に分け、城址公園に対する評価をSD法を用いて測定する。SD法に用いる評定尺度のカテゴリー数は7とし、この分布から系列カテゴリー法により、評定尺度の代表値を求める。この代表値から尺度間相関係数を算出し、因子分析(主因子法)により因子負荷量を

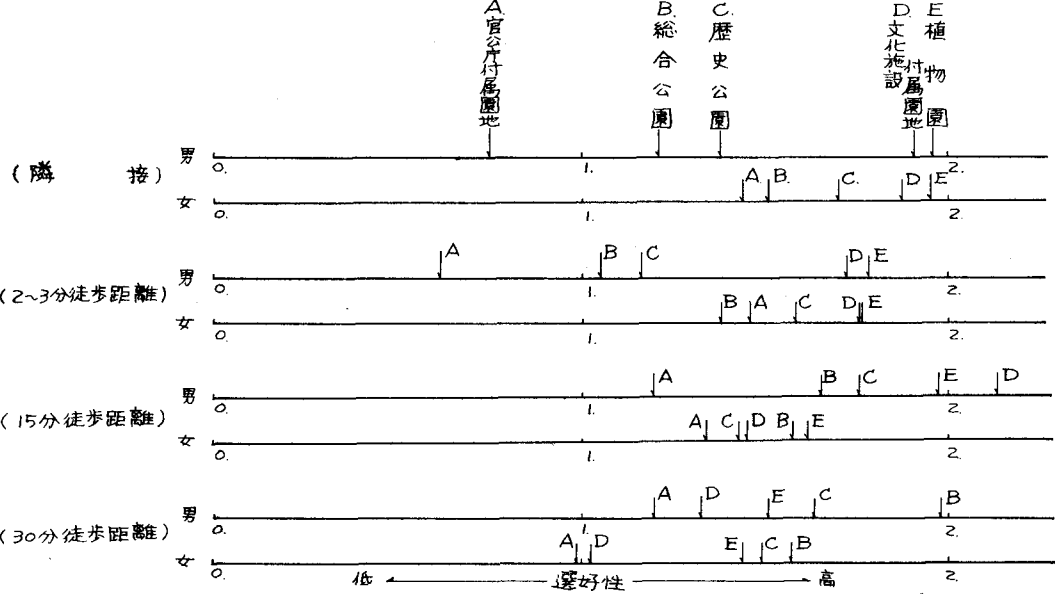


図-1 オープンスペースの時間距離別選好尺度図 (男子学生層 26名 郊外主婦層 10名)

を求める。(表-1参照)

なおSD法については、札幌の市街地に位置している大通り公園を対象にして同様のことを行ない、城址公園との比較を行なった。

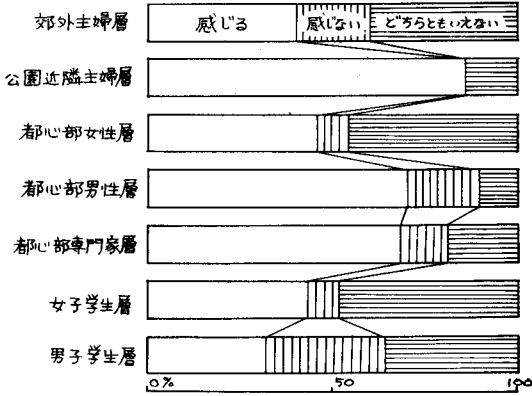
3 分析と結果

図-1から、歴史公園はどの距離にあってもその相対的位置が高いということが出来る。図-2を参照すると、この被験者層は岩手公園に比較的愛着を感じない層である。したがって他層ではこの相対的位置が、より高くなることが予想される。このことから歴史公園は距離に関係なくその存在価値が認められよう。また歴史公園と相対的位置に近いものに総合公園がある。これらの間に尺度検定を実施すると、両者の間には本質的な差異は見られないことがわかった。したがって城址公園は面積の上だけでなく機能の上でも総合公園に類似しており、総合公園の代替的オープンスペースになっていると推測される。

次に図-2はSD法を用いる際に分類した7つの層の性格を明らかにするために行なった質問に対する結果である。これを見てもわかるように、一口に盛岡市民といっても、居住地、職種、年齢等によって岩手公園に対する評価がかなり違っている。

表-1の寄与率を見ると、第2因子まででおおよその全分散が説明できる。したがって、ここには基本的に2つの因子が存在すると考えられ、仮にⅠを情緒性Ⅱを公園の物理的な状態を表わす物理的属性とする。ここでⅠの情緒性の因子が大きく作用している評定尺度が多数あるので、これらについては第2因子の因子負荷量の符号の正負で情緒性を2つに分け、表の点線の上半部を親近性、下半部を活動性としよう。このうち活動性に関しては、その中に含まれる評定尺度の代表値を見ると、住民は岩手公園を静かでのんびりしたものとしてとらえており、大通り公園については騒しくあわただしいと感じている。両公園の性格の差は、その構造の差によるものが大きいと思われる。

騒々しい都心部における、このような静かな場所の存在は、都市の環境にとっても住民にとっても非常に有益なことであろう。都心部勤務者層、公園近隣主婦層に特に評価が高いことはこのことを実証している。



質問：あなたは岩手公園に愛着を感じますか

図-2 地域別愛着度

表-1 因子負荷量

評定尺度	I	II
暗い — 明るい	0.692	0.420
不潔な — 清潔な	0.923	0.208
不快な — 快適な	0.895	0.431
つまらない — おもしろい	0.860	0.356
親しみにくい — 親しみやすい	0.950	0.091
危険な — 安全な	0.970	0.065
騒しい — 静かな	0.764	-0.466
冷たい — 暖かい	0.893	-0.200
がたい — やわらかい	0.767	-0.267
あわただしい — のんびりした	0.725	-0.115
ありふれた — 個性的な	0.780	-0.302
軽快な — 重厚な	0.633	-0.474
威厳のない — 威厳のある	0.739	-0.391
狭い — 広い	0.168	0.685
雑然とした — 整った	0.490	0.721
小さい — 大きい	0.131	0.740
素朴な — 洗練された	0.348	0.901
湿った — 乾いた	-0.471	0.642
不洁な — 清潔な	-0.079	0.837
女性的な — 男性的な	-0.139	0.855
寄与率	0.471	0.277
累積寄与率	0.471	0.748

4 おわりに

城址公園は都心部において静的レクリエーションの場として有用なオープンスペースになっている。したがって施設にも静的性格を持つ文化施設や、散策路などのようなものが適切であるといえよう。

最後に、本研究を進めるにあたり、終始北大工学部の五十嵐教授、山村、山形西助教授に御指導いただいた。記して謝意を表する。

【参考文献】○天野、神原、藤瀬、街路の及ぼす心理的效果に関

る研究 第29回国土学会秋学術講演要 1974